



タイトル題字 2年 織本 麻湖

令和2年9月号

防災スクール 9月3日(木)



今年の防災スクールは土砂災害について学習しました。清水にとっては身近に起こりえる災害であり、今年の7月にも大雨の影響で落石や土砂崩れがありました。講師として那智勝浦町から土砂災害啓発センター所長の坂口隆紀さんと、平成23年の紀伊半島大水害を経験された久保榮子さんに来ていただきました。坂口さんからは、スライドや動画を見ながら土砂災害についての3つの形態や、身を守るために日頃から注意しておくことなどの講義を受けました。久保さんには、大水害で経験したことを手



作りの紙芝居で話していただきました。実際に被災された方のお話はリアルで少し怖いところもありましたが、ストレートに心に響くものがありました。自分や大切な人の命を守るために何をすべきなのか考える良い機会となりました。悲しみを乗り越え、このような活動をしている久保さんの願いに応えるためにも災害への備えや防災意識を高めていきたいと思ひます。

<生徒の感想>

- ◆災害の怖さが分かりました。
- ◆話が怖かったけど、いつ、どんな事があるか分からないので、気をつけていきたいと思った。
- ◆早めの避難をし、後悔しないようにしたい。土砂崩れの動画をあらためて見ることがないので恐怖を感じました。
- ◆土砂崩れは避難する時間がないので、早めの行動が必要になってくるとあらためて思ひました。紙芝居は、実際に起こったこととは信じられませんでした。家に帰って家族全員で話したいと思ひます。
- ◆紙芝居で、久保さんが体験したこと全てが書かれていて、すごく分かり易かったし感動した。色々な思いをし体験をしている人がいるのだなあと思ひました。命は本当に大切にしないとけないと思ひましたし、何事もあきらめない事を大切にしたいと思ひました。
- ◆普段何気なく過ごしている家族との日常が、一瞬で消えてしまう怖さと悲しさに気づくことができました。家族や近隣の人との仲を深めていくことが大切だと思ひました。家にある防災道具の確認をしたいと思ひます。

あらぎ島「稲刈り体験」 9月15日(火)



良い天候のもと、1年生があらぎ島で稲刈り体験を行いました。例年5月に田植えを行いその稲を刈るのですが、今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で田植えができませんでしたので、農家の方が植えた稲を刈ることになりました。稲の刈り



方の説明を受けた後、八幡小学校3・4年生の児童とともに、鎌を使って稲を刈り取った後、10束まとめてひもでくくり、干す作業まで行ひました。地域の方や報道関係者も多数来られ、大勢で作業を行うと、あっという間に稲が刈り取られました。気持ちの良い汗をかいた後に用意していただいたジュースを飲むのは最高でした。

★10月の行事予定

1日(木)衣替え 7(水)~9(金)中間考査
20日(火)~22日(木)インターンシップ

16日(金)~入社試験開始
29日(木)中・高体育合同授業

